

学術院共通専門基盤科目

学術院共通専門基盤科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
0AS0001	人間総合科学基礎論	2	1.0	1・2	春C	月2,3	総合D116	小川 園子, 内山 治樹	人間総合科学学術院の各学位プログラムの学生が、持ち回りで、各自の研究テーマや学位プログラムの学問領域の特徴をプレゼンし、履修者全員で議論することにより、自身の専門とは異なる分野の研究に関する基礎知識、研究手法、物の見方、考え方を学ぶ。この演習を通して、分野融合的視点を身につけることにより、人間に関する総合的理解を深め、探究心に磨きをかける。各学位Pの後期課程学生が、プレゼン指導やディスカッションのファシリテーターの役割を担うTFとして参画する。	6/22、29、7/6、13、20
0AS0101	教育学理論研究	1	1.0	1	春C	月1,2		濱田 博文, 平田 諭治, 佐藤 博志, 上田 孝典, 藤井 穂高	教育学研究を展開する上で、関連する学問分野の理論的な基礎を学ぶ。「教育」に関わるテーマを研究するのは教育学だけでなく、関連領域として様々な学問分野においてもテーマとなりえる。そのため、様々な学問分野における基礎的な理論や方法について学ぶことで、教育学研究を進めるための視野を広げ、複眼的な視点から教育学を研究する素養を身に付ける。具体的には、教育をテーマにした以下の学問分野における研究から教育学への知見を導く。教育学と思想・哲学/歴史学/外国研究/地方行政学/政治学/社会学/経営学/法律学/文化人類学/福祉学の各学問分野が検討される。	
0AS0102	次世代教育開発研究	1	1.0	1	春C	水1,2		片平 克弘, 庄司 一子, 甲斐 雄一郎, 井田 仁康, 磯田 正美, 清水 憲, 藤田 晃之, 石崎 和宏, 樋口 直宏, 國分 麻里, 宮崎 明世, 唐木 清志, 長田 友紀, 田中 マリア	次世代教育開発をテーマに、最新の教育時事の理論的検討やディスカッションを行う。本学が定める汎用コンピテンスである「知の活用力」「マネジメント能力」「コミュニケーション能力」「チームワーク力」「国際性」、及び、教育学(前期)学位プログラムの専門コンピテンスである「教育課題発見能力」「教育内容探究能力」「教育的分析能力」「教育課題解決能力」の基礎を培うことを目標とする。具体的には、『Society 5.0 に向けた人材育成』に関わる理論や国内外の実践事例等を中心に広範に調査し、学校教育、キャリア教育、教育工学など多様な視点から分析的・総合的な検討を受講者間の議論を通して行う。	
0AS0103	Theory of International Education	1	1.0	1	秋C	金3,4		川口 純, 平 明子, 菊地 かおり	国際教育に関する諸問題を多角的な視点から理解し、またその論点について十分な知識をもとに論じることができるようになることを目標とする。授業では、国際教育に関する諸問題について、国際教育開発及び国際教育協力、国際理解教育、グローバル化の中での高等教育の変容などを事例として考察し、国際教育及び教育の国際化をめぐる今日的な動向及びその論点について理解を深める。英語によって授業を行う。	英語で授業。
0AS0104	心理統計学特講	1	2.0	1・2	秋AB	火3,4		登藤 直弥	心理統計学をはじめ統計学や教育測定学に関する最近の文献を題材にして講義を行い、心理統計学、統計学、教育測定学に関する理解を深める。また、講義で学んだ分析手法等を実際にデータに対して適用してみることを通して、受講者が、自らの研究において、当該手法等を利用できるようにする。	01EE204と同一。
0AS0201	武道学	1	1.0	1・2	春AB	水2	5C412	大石 純子	わが国の武道文化は、広く世界に広がり、異文化の中で興味関心を持って受け入れられている。本授業では、まずその現状についていくつかの事例を参照しつつ学ぶ。 また、異文化の中で、わが国の武道が興味関心を持って受け入れられている背景には、身体運動文化としての、そして精神文化としての武道文化の特異性がある。本授業では、映像資料も援用しつつ身体運動文化としての概要を学ぶとともに、武道の精神性について古典文献の講読を通して考える。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
0AS0202	健康増進学特講	1	1.0	1・2	春AB	月2	5C302	大蔵 倫博	加齢に伴う生活機能の変化と健康との関連に基づき、健康増進(サクセスフルエイジング)に必要なトレーニング法、生活実践法などについて講義する。一般健康者、高齢者、有疾患者に対する運動処方についても講義する。学習目標は、中年期から高齢期までのヘルスプロモーションのあり方および加齢にともなう体力(生活機能)の低下と健康との関連について理解することである。特に、サクセスフルエイジング、元気長寿のための運動プログラム、中年期における体重管理の意義、健康におよぼす運動習慣化の効果、保健指導の問題点と健康支援の重要性、統計データから読み解く高齢者問題、生活機能、身体機能と介護予防の関係、認知機能と介護予防の関係、心理社会機能と介護予防の関係について学ぶ。	01EH550と同一。
0AS0203	トレーニング学	1	2.0	1	春AB秋AB	木1	5C407	前村 公彦, 谷川 聡	スポーツトレーニングを推進するための適切な目標と課題の設定法、課題解決法や手段の選択・創造法、時間資源と時系列的な関連性を考慮した計画立案法、効果的なトレーニング実践法、トレーニング効果のアセスメント法に関する理論を理解し、高度なトレーニング実践を展開できる知を学習する。また、トレーニング学独自の学領域としてのオリジナリティーとその研究方法論について学んでいく。	
0AS0204	Olympic and Paralympic History (オリンピック・パラリンピック史)	1	1.0	1	秋AB	火1		澤江 幸則	オリンピック競技会、パラリンピック競技会の歴史について、その始まりと発展過程について今日の課題とともに学ぶ。授業計画は次のとおり。(1)古代オリンピックの起源と展開について、(2)メア競技祭の復興と展開について、(3)イギリスと近代ギリシャにおける古代オリンピック復興、(4)近代オリンピックの展開、(5)日本におけるオリンピック競技会の歴史、(6)ストックマンデビル競技会の創設、(7)パラリンピック競技会の創設と発展、(8)日本におけるパラリンピック競技会の歴史、(9)筑波大学とオリンピックの歴史。	大林太郎助教予定。01EH044と同一。英語で授業。Assistant Professor Taro OBAYASHI will be assigned. GS1302
0AS0301	研究のビジュアルデザイン	2	1.0	1・2	春AB	月2	学術情報メディアセンター A203	田中 佐代子, 小林 麻己人, 三輪 佳宏	研究成果を効果的に発表するために必要なビジュアルデザインの基本的な知識や技術を、PowerPointやExcelによる演習課題の制作を通して学ぶ。人間の心身及び諸活動に関する研究成果を効果的に発表するために必要なビジュアルデザインの実践力を身につけることを目的とする。	
0AS0302	スポーツ芸術表現学への招待	1	1.0	1・2	秋AB	火6	5C216	太田 圭, 嵯峨 寿, 大原 央聡, 田島 直樹, 寺山 由美	スポーツを題材とした「スポーツ芸術」について、アートのみならずサブカルチャーや文芸など、多様な領域におけるスポーツ芸術の表現について学ぶ。	
0AS0303	大学を開くデザインプロデュースA	2	1.0	1・2	春AB	応談	6A308	渡 和由, 山田 協太, 貝島 桃代, 原 忠信	複数の教員がプロジェクトを立ち上げ、多様な学生でチームを組み、地域や大学の協働者・依頼者とともに、アート・デザインの手法を使った地域貢献・大学貢献を実践的に行う。短期・長期留学生の参加を歓迎する。 本科目においては、チームごとにプロジェクト対象地域や施設の調査を通して課題を探り、提案のアイデア出しを行い協働者と共有する。その後、課題や提案をまとめ、全教員と全チームで合同発表会を行う。	教室は6A308の他、随時教員の指示により他の教室も使用する。オリエンテーションは、4月第3週の水曜18:15より6A308で行う。詳しくは掲示を参照のこと。
0AS0304	大学を開くデザインプロデュースB	2	1.0	1・2	春C 春季休業中	応談	6A308	渡 和由, 山田 協太, 貝島 桃代, 原 忠信	複数の教員が立ち上げたプロジェクトについて、多様な学生のチームが地域や大学の協働者・依頼者とともに、アート・デザインの手法を使った地域貢献・大学貢献を実践的に行う。短期・長期留学生の参加を歓迎する。 本科目においては、チームごとに協働者とプロジェクトの試行や実装実験とワークショップ等の実践を行う。その後、実践の結果と課題をまとめる。	教室は6A308の他、随時教員の指示により他の教室も使用する。オリエンテーションは、4月第3週の水曜18:15より6A308で行う。詳しくは掲示を参照のこと。
0AS0305	大学を開くデザインプロデュースC	2	1.0	1・2	秋AB	応談	6A308	渡 和由, 山田 協太, 貝島 桃代, 原 忠信	複数の教員が立ち上げたプロジェクトについて、多様な学生のチームが地域や大学の協働者・依頼者とともに、アート・デザインの手法を使った地域貢献・大学貢献を実践的に行う。短期・長期留学生の参加を歓迎する。 本科目においては、チームごとに協働者とプロジェクトの実装および制作などの実践を行う。その後、提案と実践の課程および成果や課題をまとめ、全教員と全チームで合同発表会を行う。	教室は6A308の他、随時教員の指示により他の教室も使用する。オリエンテーションは、4月第3週の水曜18:15より6A308で行う。詳しくは掲示を参照のこと。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
0AS0306	世界遺産を科学する	1	1.0	1・2	秋AB	火1		武 正憲, 池田 真利子, 吉田 正人, 八木 春生, 上北 恭史, 黒田 乃生, 松井 敏也, 伊藤 弘, 下田 一太	世界遺産保護における課題と解決方法を自然科学、人文社会科学の視点から講述する。美術史、政策、観光、保存科学、景観保護、自然保護など世界遺産を対象に多様な切り口から知識と総合的な視座を獲得する。同時に国内外の世界遺産における国際協力の事例と手法を学ぶ。	人社B218
0AS0401	こころの神経科学	1	1.0	1・2	夏季休業中	集中		高橋 阿貴, 武井 陽介, 小川 園子, 綾部 早穂, 山田 一夫, 岡崎 慎治, 水挽 貴至, 松本 正幸, 岩木 直, 山田 洋	「こころ」を理解するための神経科学的研究の手法と成果について学習し、社会への応用の可能性を考える。専門学問領域の修得を深めるために、分野横断的融合型研究の視点を活用する豊かな発想を養う。分子から精神までを網羅するニューロサイエンスの基礎を学ぶことにより、こころの理解に向けての分野横断的視点や考え方を学ぶことができる。	
0AS0402	神経科学先端セミナー1	1	1.0	1・2	通年	応談		高橋 阿貴, 國松 淳, 山田 洋	遺伝子、分子、細胞、組織、生理、システム、数理、行動、認知、応用、支援など、ニューロサイエンスの各領域の先端的研究について、担当教員が毎回ゲストとして招く研究者によるセミナー講演を通して学ぶ。最新の研究手法や理論についての知識を深めるとともに、講師とのインフォーマルディスカッションを通して、生命科学、行動科学、情報科学、社会科学を架橋するニューロサイエンスの醍醐味、面白さを学び、ヒトのこころの理解を目指す人間科学の研究者としての視野を広げる。	
0AS0501	医科学セミナーI(ブレインサイエンス)	1	1.0	1・2	通年	応談		松本 正幸	分子神経生物学からシステム脳科学および臨床医学にわたる様々な神経科学の分野で活躍する第一線の研究者が行う最新のトピックスに関する講義に参加し、研究の最前線を知るとともに、神経科学の最新の研究成果について、自分自身の研究分野との関連で議論する。 トピック:脳、神経、病気、精神、パーキンソン病、自閉症、統合失調症、ロボットスーツHAL	
0AS0502	医科学セミナーII(生化学、分子生物学)	1	1.0	1・2	通年	応談		入江 賢児	生化学、分子生物学の分野で活躍する第一線の研究者が行う最新のトピックスに関する講義に参加し、研究の最前線を知るとともに、生化学、分子生物学の最新の研究成果について、自分自身の研究分野との関連で議論する。 トピック:代謝、DNA複製、転写、翻訳、遺伝子発現制御、細胞周期、アポトーシス、がん	
0AS0503	医科学セミナーIII(免疫学)	1	1.0	1・2	通年	応談		渋谷 和子	免疫学の分野で活躍する第一線の研究者が行う最新のトピックスに関する講義に参加し、研究の最前線を知るとともに、免疫学の最新の研究成果について、自分自身の研究分野との関連で議論する。 トピック:免疫系は生体を異物から防御するための必須の機構であるが、一方でアレルギーや自己免疫のように不都合な反応も起こしうる。学生を研究者の卵として位置づけ、学外の免疫学研究者の最先端の研究に触れることによって研究に対するモチベーションを高め、また今日の免疫学研究の現状と動向について考察する。	
0AS0504	医科学セミナーIV(プライマリケア)	1	1.0	1・2	通年	応談		柳 久子, 前野 哲博	プライマ・ケアや保健医療福祉の現場で活躍する第一線の研究者が行う最新のトピックスに関する講義に参加し、現場の最前線を知るとともに、プライマ・ケアや保健医療福祉の最新の研究成果について、自分自身の研究分野との関連で議論する。 トピック:プライマ・ケア、保健医療福祉	01EQ041と同一。
0AS0505	医科学セミナーVII(臨床研究セミナー)	1	1.0	1・2	通年	応談		橋本 幸一	疫学や生物統計学に関する講義の補完として、疫学や生物統計学分野で活躍する第一線の研究者が行う最新のトピックスに関する講義に参加し、現場の最前線を知るとともに、疫学や生物統計学の最新の研究成果について、自分自身の研究分野との関連で議論する。また、原著論文を担当を決めて紹介し、セミナー形式にてディスカッションすることで学習効果を高める。 トピック:疫学、生物統計学	01EQ060と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
0AS0506	医科学セミナー基礎	1	1.0	1・2	通年	応談		小林 麻己人, 入江 賢児	医科学研究全般(生化学分野・分子生物学分野・細胞生物学分野・脳神経科学分野・免疫学分野・人を対象とする医学系研究分野など)にわたる最新の話題を第一線で活躍する研究者が紹介する。当該研究者は、担当教員が毎回ゲストとして招く。医科学(生化学分野・分子生物学分野・細胞生物学分野・脳神経科学分野・免疫学分野・人を対象とする医学系研究分野など)に関する現状と課題について理解する能力と、さまざまな観点から論じる能力を身につけることが可能となる。	
0AS0507	社会医学概論	1	2.0	1	春AB	木1,2		市川 政雄, 福重 瑞穂, 田宮 菜奈子, 森田 展彰, 斎藤 環, 大谷 保和, 山岸 良匡, 近藤 正英, 我妻 ゆき子, 五所 正彦, Togoobaatar Ganchimeg, 伊藤 智子, 笹原 信一郎, 大久保 麗子, 堀 愛, 堀 大介, 本田 克也, 菅野 幸子	人びとの健康に寄与する要因が多岐にわたること、人びとの健康を増進するには学際的な取り組みが欠かせないことを理解することを目標とする。社会医学の今日的課題をさまざまな観点から論じることができる。	01EQ005と同一。 英語で授業。
0AS0601	カウンセリング方法論基礎I	1	1.0	1	通年	随時		カウンセリング学位プログラム(博士前期課程)_M1担任	広義のカウンセリング領域における基本概念整理を行い、文献検索による課題の絞りこみや様々な研究方法の概要について習得する。本科目においては広義のカウンセリング領域について基本概念や方法を学ぶことにより、人間の心身及び諸活動に関する幅広い知識と総合的視座を身に付けることを目的とする。他領域の学生にとっても、知識の習得、文献検索、研究方法の修得などから専門知識及び専門技能に必要な倫理を学ぶことが可能となる。	
0AS0602	リハビリテーション方法論基礎I	1	1.0	1	春AB	水7,8		リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)_M1担任	研究法の基礎として、研究デザイン、学術論文の要件、臨床研究の倫理、実験計画法、調査法、観察法、面接法、質的研究法、事例研究法、文献研究法、検査法などについて概説する。	
0AS0603	スポーツ・ヘルスプロモーション方法論	1	1.0	1・2	春C	水7,8	2F講義室7	菊 幸一, 尾縣 貢, 水上 勝義, 柴田 愛, 渡部 厚一	スポーツ・ヘルスプロモーションの修士論文・特定課題研究報告書の作成のために必要な基礎的な方法論について概説する。各自の研究計画の実現に向けて、研究デザインと科学的方法の客観性を担保する方法基礎論を理解し、文献や資料のオンライン検索の方法を学ぶ。また、社会調査法の一般的な手順を概説する。さらに、調査や実験データの分析法・検定法などの統計手法について、分析や検定結果の解釈法について文献を用いて理解したり、実際に統計解析ソフトを用いながら理解を深める。	01EK002と同一
0AS0701	Research Foundation	2	2.0	1	秋C	月・木1,2		森嶋 厚行, サーカー サヤン, 李昇姫, 金 尚泰, 上保 秀夫	まず、それぞれの担当教員が専門とする研究領域を紹介し、研究テーマの設定方法や調査・実験の方法、研究成果の公表方法などの特徴について解説する。その後、修士論文執筆を最終目標として、文書作成、研究倫理、プレゼンテーション、協働作業、プレゼンテーションの5つのテーマについて学ぶ。(取り上げるテーマの順番は変更になる可能性がある。)さらに、研究の遂行と論文作成のために有用な各種のツールの使い方を演習を通して学ぶ。これらを通して、研究者となるための基礎的知識と技能を身に着ける。	
0AS0702	研究者のための学術情報流通論	1	1.0	1	秋AB	集中		逸村 裕, 宮入 暢子	自らの専門分野の学術情報流通と評価を見つめなおし、他分野の研究評価の在り方を知ること、学術全般についての意識を高めるとともに、研究と学術情報流通のあり方についてマクロに考える。	10/3, 10/17, 11/21
0AS0703	音響メディア情報	1	1.0	1	春C	火1,2	7A105, 7B206, 総合D116	寺澤 洋子, 平賀 謙, 善甫 啓一, 内山 俊朗	社会における音の課題(音声コミュニケーション、音環境、聴取と認知など)について学び、音楽やメディアアートといった応用的な事例の検討を通じて、実社会におけるコミュニケーションのユニバーサルデザインを考える。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
0AS0704	情報アクセス	1	2.0	1・2	秋AB	金5.6		佐藤 哲司, 森嶋 厚行, 関 洋平	大量の情報へのアクセスは、ビッグデータ時代の鍵となる技術であり、その重要性は益々増大するばかりである。本講義では、情報アクセスの中心的な技術である情報検索、情報管理・統合技術、自然言語処理について、最先端の技術動向を交えながら説明する。これらの領域における最先端の話題として、WWWを舞台としたコネクティブインテリジェンスや共創知、クラウドソーシング、ソーシャルメディアにおける情報統合についても解説し、情報アクセス技術のこれまでとこれからの研究や社会応用の展望について理解を深める。	